

1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

水防災教育の実施(支援資料を用いた試行授業の実施)



「水防災意識再構築ビジョン」の取組の1つである「逃げ遅れゼロに向けた迅速活的確な避難行動の為の取組」として、実際に防災教育を行う教員が授業で活用できる支援資料を作成し、モデル校である日野市立平山小学校、世田谷区立砧南小学校、川崎市立東小田小学校において、防災教育の試行授業を実施しました。

支援資料には地域性を持たせ、降雨体験車や模型を用いることで、生徒の理解が深まる工夫をしました。



日野市立平山小学校

ハザードマップで地域の浸水深・避難所を確認



川崎市立東小田小学校

降雨体験車で洪水発生の要因となる大雨を体験



世田谷区立砧南小学校

流水模型実験装置を用いた「流れる水の働き」の学習

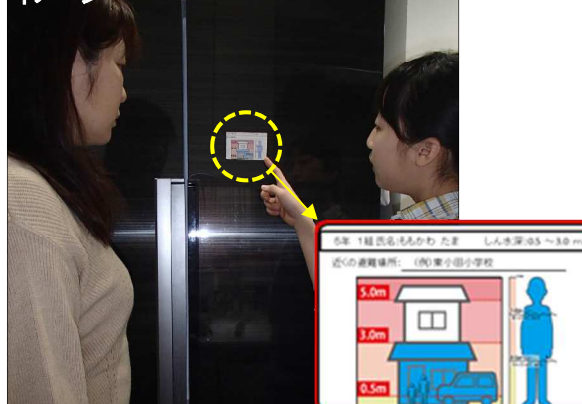
2. 地いきとかこの水害を知る

《昭和49年からの水害のあった場所》



地域性を持たせた支援資料

イメージ



自宅の浸水深を理解するために、
「マイハザードマップ」を作成し、家族と共有

先生からのご意見

- ・地域の洪水写真は検索しても見つからないため、提供はありがたい。
- ・自分が住んでいる地域に関する学習は、生徒に“自分事”として捉えてもらえた。
- ・マイハザードマップは保護者面談で話題になるなど、家庭への波及効果がみられた。

生徒の感想

「逃げる場所が分からない」ということがないように、家族で逃げる場所をあらかじめ確認しておきたい。